

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 石川よしはる

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和5年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1.自治体ファイナンスについて	<p>【趣旨説明】</p> <p>世界中を震撼させた新型コロナウイルス感染症は、本年5月に感染法では「2類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行されました。人の動きは急速に回復しています。上場企業の4～6月期の決算は、円安や新型コロナの規制緩和もあり、前年同期比46%の増となりました。大企業の業績は急速に回復をしてくれています。日銀はイーロドカーブ・コントロールを見直し長期金利の変動幅の上限を事実上1%に引き上げると公表しました。長期金利の今後の動向も注視されます。</p> <p>武豊町は令和5年度、4年ぶりに不交付団体になりました。単年の財政力指数は1.275、令和5年度一般会計予算では、前年度より30億5,000万円多い174億8,900万円を計上しています。ひとえに、臨海部における民間企業の固定資産税が大幅に増えたことによるものです。これまでに、やりたくてもなかなか進められなかった事業も、大きく進めることができるかと期待しています。</p> <p>大幅に増加した歳入・歳出を、より効果的に円滑に執行するには、資金の調達と資金の管理・運用が重要になってくると考えます。幅広い選択肢の中から、武豊町にとって何が一番良いのか検討していかなければなりません。本町では本年1月に指定金融機関である三菱UFJ銀行武豊支店が半田支店に統合されました。また2024年10月からは、これまで無料であった自治体からの送金に、手数料が新たに適用されます。今回の質問は、9年前の平成26年9月議会におきまして、質問させていただき、様々なご提案をさせていただきました。当時の財政力指数は0.990、予算は約136億円でした。予算規模も財政力指数も当時より大きく変わっています。昨年12月議会で答弁いただいた公金取扱業務のデジタル化の推進も喫緊の課題です。</p> <p>以上を踏まえ、以下質問します。</p> <p>【質問事項】</p> <ul style="list-style-type: none">①地方債の借入期間は、どのように決めているのか②地方債の借入先は、どのように決められているのか③地方債の償還方式は、どのように決められているのか④歳計現金の運用・管理はどのように行っているのか⑤基金の運用はどのように行っているのか⑥指定金融機関の武豊支店が半田支店内に移設されたことによる影響は⑦振り込み手数料の有料化による影響はどの程度見込まれているのか⑧公金取扱業務のデジタル化の進捗状況と今後の課題は